

2007年 12月3日

## プロジェクト報告書

団体名 NPO法人バリアフリーセンター

福祉ネット「ナナの家」

### 1. プロジェクト名

多摩川乗馬会

### 2. プロジェクトの目的とその背景

バリアフリーで障害者や児童を対象とした乗馬会並びにふれあい動物園を下記社会的背景から実施するものです。

1. 青少年がボランティアする機会が少ない。また、子供たちは競争社会の中でストレスが大きく、住宅事情から動物に触れ癒されることが少ない。
2. 高齢者や障害という状況が健常者には無関係と思われ勝ちで、地域で年齢や障害の有無を超えて交流する機会がほとんど無い。

### 3. プロジェクトの内容

1. 会場 狛江市多摩川河川敷
2. 実施時期 4月、5月、9月、11月
3. 実施者 主催「ナナの家」後援 狛江市、狛江市教育委員会、助成 真如苑
4. 参加予定者 各回 乗馬 200名 ふれあい動物園 250名 キッズコーナー 250名 総計 6000名
5. 主催者側要員 職員 3名 協力者 10名 ボランティア 20-50名
6. 協力団体 紅葉台木曾馬牧場、福田牧場、長野県「わら馬」会

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果

障害者を乗馬させるための台座として、マウンテンランプを要するが昨年までは、ビールケースをいくつか積み上げ、障害者を立たせ乗馬させていた。ビールケースから落ちる危険性や介助者が腰を痛めることが多く問題を有していたが、本年後半ようやくマウンテンランプを作ることが出来、リスク排除が出来たことは、補助団体、助成団体、並びに寄付者のお蔭と厚く御礼申し上げます。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など

本年度は、第4回が天気が悪く、予定の参加者を得ることが出来なかったが、全体的に昨年を大きく上回る参加者を得、予定通りに近い成果を得ることが出来たものと評価できます。ますます地域に定着しつつある実感を得ることが出来ます。今後ますますPRし、ボランティアに児童、生徒、学生の参加を図ると共に、内容の充実を図っていきたいと考えます。



①軽トラックの荷台にスロープがついた新しい騎乗台  
②従来のビールケースは安定せず、転落の危険もあった(ナナの家提供)



障害者向けの乗馬会を定期的に開いているNPO福祉ネット「ナナの家」(狛江市)が、足の不自由な人を馬の背に乗せる際に使う「スロープ付き騎乗台」を完成させた。軽トラックの荷台を利用しているので、移動も自由で、「より安全に、乗馬に挑戦してもらえ」という。23日に同市内で開かれる乗馬会でお披露目される。

### 狛江のNPO製作

障害者乗馬は、筋力アップなどの身体的な効果だけでなく、動物と触れ合うことで心が癒やされる精神的な効果もあるとされる。ナナの家では、1999年から年に数回、多摩川河川敷で子どもや障害者向けの乗馬会を開いているほか、毎週末には目黒区の馬場で会員を対象とした障害者乗馬会を行っている。

足の不自由な人が乗馬する際、これまではビールケースを階段状に積みあげ、スタッフが数人がかりで抱え上げていた。この方法では、バランスを崩して障害者が集まっているが、引き続き寄付を募っている。

ナナの家の代表、皆河える子さん(58)は「より手軽に障害者が乗馬を楽しめるようになる。希望する団体には貸し出ししたい」と話している。

23日の乗馬会は、小田急線と東多摩川駅近くの多摩川河川敷で午前10時から午後3時半まで。障害者乗馬インストラクターによる指導のほか、ヤギやウサギと触れ合える出前動物園なども。問い合わせはナナの家(電話03・5438・2773)へ。

# 車いすの人安全に乗馬 軽トラ改造スロープ騎乗台

## 読 者 寄 附

2007年(平成19年) 9月23日 日曜日

発行所  
読売新聞東京本社  
第47253号

〒100-8055  
東京都千代田区大手町1-7-1  
電話 (03) 3242-1111(代)  
http://www.yomiuri.co.jp/